

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
新城	1	10月27日	市役所4階会議室	新城駅周辺について	市街地、中心地の活性化についてお尋ねしたいです。また、栄町線の亀姫通りが広くなりましたが、今後の新城駅前整備、新城駅の改築についてもお聞かせください。	<p>栄町線の件ですが、現状、駅前の整備を進めることが今の段階でできました。栄町線を延伸していくため、さらに用地の買収が必要ですので、そうした用地の買収に向けての推進もしております。</p> <p>JR新城駅の駅舎ですが、駅前の整備、駅のバリアフリー化、エレベーターの設置も含めまして、約4億余の事業でありましたが、市民の皆様から3500万円以上、事業費の10%近いご寄附をいただき、駅の整備が図れました。市民の皆様の利用する上で利便性の向上にも繋がったと思っております。駅舎につきましては、時期が来ましたら新城駅が市民の皆様にとって利用しやすい駅舎になるよう、更新に向けての交渉を市の責任のもとに進めていきたいと考えております。(市長)</p> <p>栄町線ですが、非常に大事業であることから亀姫通りが完成してから動いておりません。まず地権者の方々のご理解が必要ということで、ご理解いただけるような説明等々をしているところです。その中で1点大きく問題になっているのが、栄町線の駅前の幅員についてです。これを見直すことによって、地権者の方々の負担も少なくなり、事業の進捗に対しても大きく前進できるのではということで、愛知県の方で今検討している状況です。併せて、地権者の方と、さらにご理解いただけるような説明を今後していき、一刻も早い事業着手に向けて努力していきたいと考えております。(建設部長)</p>	左の回答等のとおりです。(建設部長)
新城	2	10月27日	市役所4階会議室	高齢者の就業について	人生100年時代を見据えて、高齢者の就業機会の確保について行政のお考えを教えてください。	<p>シルバー人材センターに登録いただいている方も多く、シルバー人材センターの仕事も年々増えているということで雇用の場はあります。</p> <p>健康増進に向け、多くの高齢者の方の就業確保ができるよう、ハローワークとも定期的に雇用の状況についての意見交換をしております。特にこれから、生産年齢人口が減っていきますので、65歳で定年をされた方に、元気に健康で働いていただけるような環境づくりは必須です。そうした環境につきましては、市の方でも考えていきたいと思っておりますし、目に見える形で示していく必要があると思っております。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(健康福祉部長)
新城	3	10月27日	市役所4階会議室	ボランティアガイドについて	この新城ができてから400年、歴史の見えるまちというような、新城地域の歴史を掘り起こして街の活性化を図るようなアイデアを出して欲しいと思います。それと同時に、新城のまちに来て、新城の歴史を伝えるボランティア人材の育成やボランティアセンターを作っていただきたいと思います。	<p>地域の皆さんが歴史文化のみならず、この新城というまちの古来からの営みや暮らしの変遷というものを市内、市外の方にガイドできるような活動を、地域を挙げての取り組みにしていけるよう、行政もサポートしていきたいと思っております。</p> <p>市内に歴史文化を中心とする5つのボランティアガイドの団体が、来年の大河ドラマの「どうする家康」の放映の機会に集まって、情報共有しよう立ち上げの場を持ちました。</p> <p>そうしたことから、ボランティア団体の横の繋がりもできましたので、情報共有をしていただき、全市的な盛り上がりにつなげていければと考えております。(市長)</p>	<p>大河ドラマ放映を契機に、ボランティアガイドの窓口となる観光協会が中心となって、「歴史のみえるまちネットワーク」が立ち上げ、団体間の情報共有を行っています。これにより、各団体の活動を磨き上げることで、地域を挙げての取り組みに繋がっています。(産業振興部長)</p> <p>左の回答等のとおりです(教育部長)</p>
新城	4	10月27日	市役所4階会議室	新城市役所職員について	若い職員が、これからの新城市をどうするかというようなアイデアを自由活発に発言し、それを行政に反映できるような仕組みを作っていただきたいと思います。市民にとって、この方が市役所職員の方でよかったと思えるような、職員を目指していただきたいと思います。	<p>地域の方や地域活動にしっかり寄り添える意識を持った職員を目指してほしいと思っております。地域の方との繋がりをしっかりと築いていくことが基本になると思っております。そうしたことから、地域自治区制度も10年目を迎え定着してきました。来年におきましては、まず今の地域自治振興事務所の取り組み、地域自治区の現場に入ってより近くで活動できるように考えていきたいと思っております。また、職員の業務につきまして、より効果が上がるような業務改善提案制度があり、これは私のマニフェストでも掲げております。業務改善提案は、複数の職員から提案が上がってきておりますが、なかなかそれを実践するという段階までいくものが少なかったと思っております。業務改善や市民サービスの向上に繋がる提案は、まずは実践していくことから始めていこうと思っております。日々の業務の基本である住民サービスの原点に立って取り組んでいく職員像を目指していきたいと思っております。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(企画部長)
新城	5	10月27日	市役所4階会議室	空き家・空き地対策について	放置された空き家、空き地に近隣住民が困っています。市でも空き地とか、空き家の把握はされてると思うんですけども、高齢者が所有していた家や畑、空き地は、所有者が元気に暮らしているうちは管理されているので、近隣住民からの苦情は出ませんが、高齢のために施設に入ったり、お亡くなりになった場合は、放置状態となって空き家となり、家が朽ちたり、野良猫のすみかになっているところもあります。最近では、キツネが空き家に入り、近くの畑を荒らすといった苦情も出ています。不衛生であり、不審火の犯罪が懸念されます。また、空き地については、雑草が繁殖し背丈まで伸び、害虫やの発生やごみのポイ捨て等があり、道路の可視範囲も狭めて危ないことや、犯罪上よくありません。空き家や空き地の所有者がわかれば、区の方からも直接連絡し対処をお願いすることができそうですが、所有者がお亡くなりになったりして、家族に相続されていた場合、連絡先を知ることもできません。個人情報保護の関係で、安易に情報を得ることもできず困っています。市で空き家、空き地についてどこまで管理し、関与しているのでしょうか。市でわかっている情報を、行政区におろしていただくわけにはいかないでしょうか。また行政区から依頼があれば、どこまで現在の所有者との連絡調整をさせていただけるのでしょうか。行政区内に行政、区の役員が所有者を知らない、わからない空き家、空き地があること自体、防災、防犯上問題ではないかと思います。鳥獣がもたらす感染症も危惧されており、何とかならないものではないでしょうか。市ではできないということは、住民で対処しろということでしょうか。	<p>空き家につきましては、所有者が亡くなって、そこが空き家になっても管理責任は相続をする方に管理責任が発生します。その周辺の地域、また隣接する地区の方へ危険が伴うような状況になることがないように、市としては「空き家特別措置法」に基づきまして、納税通知先の確認など相続人等の調査を行うことができようになり、助言指導を行っております。個人情報でありますので、その所有者や相続人である方をお示しすることはできませんが、具体的にご相談いただきたいと思います。</p> <p>それから、空き地の雑草につきましては、新城市の条例の中に「しんしる安全安心で快適なまちづくり条例」という条例があります。これに基づきまして、この空き地の登記簿等を調査して所有者、親族を確認することができます。それによりまして、同様に必要な助言指導ができます。これにつきましても具体的ににご相談をいただければと思っております。</p> <p>鳥獣害対策、耕作地の畑が荒らされる件につきましては、農業課に連絡をいただけたら対応していきます。</p> <p>空き家・空き地の関係ですが、今年度の令和4年度の固定資産税の納税通知に空き家の適切な管理をお願いしますという文書を同封しました。空き家に関する各種お問い合わせ先としまして、司法書士会、建築士会、土地家屋調査士、宅建協会、解体工事業協会、シルバー人材センター、各種団体の連絡先を記載して、適切な管理をお願いする案内も添えました。空き地の管理もしっかりと行っていただくように、来年度の納税通知に入れて、ご協力をお願いしたいと思っております。(市長)</p>	<p>左の回答等のとおりです。(総務部長、建設部長)</p> <p>空き家に住み着いたキツネによる畑被害については、質問されたご本人に確認し、キツネによる畑被害ではなかったことを確認するとともに、キツネは市が指定する有害鳥獣に含まれないため、捕獲することができない旨を説明させていただき、ご本人にも納得いただいています。(産業振興部長)</p>
新城	6	10月27日	市役所4階会議室	耕作放棄地について	高齢化・人口減少に伴う耕作放棄地が目立ちます。食糧自給率の低下、飼料の高騰等への対応として、農地の集約による活用、生産性の向上を図る対策ができませんか。市として行われている対策をお聞かせください。	<p>営農条件の良くない農地の耕作放棄地対策も含めまして、大変頭を悩ませている課題であります。市では、農地を借りて耕作をしたいという方と、農地を貸したいという方のマッチングも行って、農地の利用に繋がるような方策を生み出していきたいと思っております。ただ、生産効率を含めた営農条件の改善のために、国、県の補助をいただきながら、土地改良事業を行っていくこともできますが、かなり複数の方の理解と協力、また細かい調整が必要になると思っております。近くに隣接する農地がまとまっているというような場所であれば、市の方で協力もできると思っております。具体的にお持ちの農地の場所も含めて、農業課の方にも相談いただければなと思っております。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(産業振興部長)

新城	7	10月27日	市役所4階会議室	中津市との友好都市について	奥平家と繋がってるので、大分県の中津市と友好都市を結んでどうか。	中津城とは今から60年ほど前、長篠城址史跡保存館が開館したとき「血染めの陣太鼓」をはじめとした奥平家の宝物をご寄贈いただき、保存館の基礎作りにお力添えをいただき、以来、様々な形で連携をとってきました。現在も交流は続いておりますので、来年の築城450年に向けて、奥平様にもお力添えをお借りしたいと思っております。(市長)	来年度の事業として、中津城にある長篠合戦図屏風について何らかの形で、市民の皆さんに見ていただくことができないか検討を行っております。(教育部長)
新城	8	10月27日	市役所4階会議室	ボランティアガイドについて	ボランティアガイドの規定や待遇、サポートについてお聞きしたい。	ボランティアガイドに関する規定は、市として特に定めてはおりません。(市長)  ボランティアガイドについて、各地区いろいろな形で人材を育成し、継続できるように活動されております。10の地域自治区がありますので調査をさせていただき、事例をお届けさせていただきたいと思っております。(企画部長)	左の回答等のとおりです(教育部長)  東郷、鳳来中部、鳳来南部地区のボランティアガイドに係る資料をお届けさせていただきました。(企画部長)
新城	9	10月27日	市役所4階会議室	桜淵公園付近の竹林について	桜淵公園近くの道で、竹林が薄暗く、竹の根っこで道路の状況も悪くなっているように感じます。もう少し綺麗にさせていただけると気持ちよく通れる気がします。市の方ではその道に関しては何かお考えはありますか。	ご指摘される箇所は竹林について、土地の所有者が個人の方であるため、市として手を入れるという計画はございません。ただ、ウォーキングコースにもなっている場所でもありますので、その土地所有者の方にもご協力いただけるように、市の方からもお願いをしていくことが前提になると思っております。(市長)  道路管理の立場から言いますと、そこがどのような危険があるのかといった部分が一番になります。まず危険という部分でいきますと、木が倒れていたり、少し葉っぱが道路の方へ出るなど歩くのに気になる場合は、土木課の方で所有者の方に許可をもらって対応させていただきますのでご連絡ください。また美観的に何とかならないかという問題につきましては、観光課の担当の方とも相談して何か良い解決策があるか、検討の方をさせていただきますと思っております。(建設部長)	左の回答等のとおりです。(建設部長)
新城	10	10月27日	市役所4階会議室	コロナ禍における市内事業者の疲弊について	コロナの影響も3年目となりまして、自営業も疲弊してきたと思っております。そんな中、資源高のなかでの円安にてさらなる仕入れコスト増が見込まれます。この状況について、市としてはどう捉えているのかお聞きしたいです。	この2年半ぐらいの間は市内事業者に対し、国からの臨時交付金を活用しながら支援を行ってきました。市の補助対象事業として、商工会がコロナの影響を受ける市内事業者への支援策として実施している「プレミアム商品券事業」も現在行っております。また、市内事業者が融資を受ける際の信用保証料の補助、利子補給補助なども行っております。来年度以降も引き続きそういった臨時交付金を使えるような状況であれば、直接市内の自営業者の声を聞きながら、事業が継続する支援を考えていきたいと思っております。(市長)	左の回答等のとおりです。(産業振興部長)
新城	11	10月27日	市役所4階会議室	少子化問題について	少子化と高齢化の問題についてお聞きしたいです。 今、栄町は出産祝い金として1万円出していますけれども、例えば、市から第一子は5万円、第二子は30万円、第三子は100万出産祝い金を出すなど、市民みんなで協力し合って、人口を増やすためにできることを考えていただきたいと思っております。高齢化社会が進んでいくのはしかたがないことだと思っておりますが、子供たちを増やす方法を知恵を出し合ってぜひ考えていきたいと思っております。	祝い金につきましては、ご提案として受け止めさせていただきます。平成22年まで市では一時的な報奨金として経済的支援をしてきましたが、児童手当等の子育て家庭に対する経済的支援の充実に伴い廃止をいたしました。新城市は他市に先がけ、こども園の保育料無償化を図ってきました。それには、子育て世代のご家庭の方の負担軽減に繋がっているということで、満足度に繋がっていると思っております。現在、本市が実施している子ども医療費助成事業や保育料の無料化・未満児の低料金化のように子どもの成長に応じて親の経済的負担を軽減する制度を設定することが有効な手立てだと考えております。(市長)	左の回答等のとおりです。(健康福祉部長)
新城	12	10月27日	市役所4階会議室	市民自治について	市民自治で決まったことや行ったことを、世界の違う目で見たら、どういう形で評価されるか、ご意見をいただくというチャンスを作っていたいただけたらと思っております。	ご提案として受け止めさせていただきます。(市長)	例えばニューキャッスル・アライアンス加盟都市から評価していただければどうか、とのご提案ですが、現在、老人クラブ連合会や若者議会在、オンラインを活用してニューキャッスル・アライアンス加盟都市の老人評議会や若者議会で活動の紹介や課題の共有をする機会を持ち始めています。今後も様々な年代、市民活動団体との意見交換の機会づくりを行っていきたくと考えています。(企画部長)
新城	13	10月27日	市役所4階会議室	デジタル田園都市構想について	デジタル田園都市構想を市としてどのような形で進めていかお聞きしたいです。また、触れ合う形で距離感を縮めることはデジタルではできない部分になりますので、コンパクトシティという考え方も取り入れていかないとけないと思っております。コンパクトシティの考え方がありましたら、教えていただければと思います。	特にこの地域は、高齢化に伴う高齢者福祉や医療、健康づくり、未病対策が必要です。そうしたことに、DXの先進的な技術を取り入れて、遠隔の診療や健康増進などやることが必要であると思っております。この地域の中心部の方、そして過疎地域、周辺部の方たちも必要としている暮らしの利便性に繋がるような、デジタルの活用を優先順位を決めて行っていく必要があると思っております。 コンパクトシティにつきましては、中心市街地中部地区に居住を含めた、商業施設を誘導していくという計画はあります。すでに新城市のこの中心市街地は、全市の面積の約1.1%の中に、市の人口全体の30%が居住しております。この状況は、コンパクトシティになっているエリアになります。鳳来地区は長篠地区を中心核として、居住を含めた施設、商業施設の誘導をしていく、作手地区では小学校中学校、そして診療所、こども園がある高里地区を中心核として誘導していくというような、コンパクトネットワークという考え方を次に近づけていくという大きな方向性は持っております。(市長)	(デジタル田園都市構想) 左の回答等のとおりです。(企画部長)  (コンパクトシティ) 現在、「新城市立地適正化計画」の策定作業を進めています。本計画は、住まいや医療施設、商業施設、子育て施設等を近接して立地させることで、子育て世代、高齢者など誰もが安心して暮らしやすい環境を整備し、中心市街地が魅力ある地域となることでゆるやかにコンパクト+ネットワークによる持続可能なまちづくりを目指すものです。(建設部長)
新城	14	10月27日	市役所4階会議室	移住者対策について	新城市の魅力伝えて、移住者の受け入れなど対策や若い人たちの流出を防ぐ対策が必要だと思っております。そのために、文化歴史や観光地など新城市の魅力を高める施策、それをどのようにPRしていくのか市としてのお考えを聞かせください。	新城市の魅力発信だけではなく、新城市に移住を考えている人たちに向け、市の魅力や移住を考えている人たちが必要とする新城市の情報を発信できるように、移住ポータルサイトを来年の2月末までには運用できるように準備をしているところです。運用につきましては、皆さんからもご提案やご意見をいただいて、より良いものにしていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。(市長)	左の回答等のとおりです。(企画部長)